

# 吉野～八木駅間バス路線延長計画



吉野大峯ケーブル自動車株式会社

# 吉野～八木駅間バス路線延長計画

## 【はじめに】

奈良県中南和地域の公共交通網は、人口減・自家用車の普及により、規模が縮小されてきています。これに伴い交通不便地域が生まれ、公共交通利用の観光客を誘致しにくい状況となっています。この問題を少しでも打開するべく、平成 26 年秋に吉野下千本駐車場～談山神社間において路線バスを運行しました。平成 27 年はさらに中南和の交通の要所である近鉄大和八木駅まで路線を延長する計画です。橿原・明日香・桜井・吉野を結ぶ新たな観光ルートを確立し、地元の交通事業者として中南和への観光客誘致に協力したいと考えました。

## 【概要】

■路線名称: 八木飛鳥吉野線(仮称)

■事業目的: 今まで直通の移動手段がなかった、明日香村～桜井市南部の間を結び、移動時間の短縮を図るとともに、中南和地域を訪れる観光客の利便性を確保します。お客様には沿線の観光スポットで乗り降りしながら観光をしていただき、観光周遊路線としての運行を目的とします。

■運行区間: 下千本駐車場～談山神社～石舞台～藤原宮跡～八木駅

■運行開始日: 平成 27 年 9 月 1 日(予定)

■運行期間: 毎年 12 月 1 日～2 月末日を除く土日祝日に運行。

■運行会社: 吉野大峯ケーブル自動車株式会社



新路線経路説明図

【運行することによる効果】

■ 中南和地域への周遊観光の促進

沿線には藤原宮跡・明日香・談山神社・吉野山と、魅力ある観光スポットが並んでおり、この路線を使用することにより乗り換え回数が少なく、スムーズに周遊することが可能となります。

従いましてこの路線は直通を目的とせず、各観光地相互間を結ぶ「定期観光バス」的な利用を目的としています。

たとえば、明日香村で観光した後、談山神社へ移動して宿泊、翌日談山神社で観光した後、吉野山でさらに観光を楽しむという行程も可能となります。

橿原・明日香・桜井南部・吉野地区へのさらなる誘客に有効な路線になると考えます。



## ■インバウンドへの対策を

今まで北和地域は比較的交通の利便性がよいことから大阪・京都方面からインバウンド客が利用しやすいルートが確立されておりますが、中南和地域にはそのようなルートはありませんでした。

現状、中南和地域を観光しに訪れようとする場合、橿原、桜井、明日香、吉野それぞれの最寄駅まで鉄道を利用し、相互間を直接移動しようとしても、いったん最寄駅に戻ってから迂回する形を取る形しかできず、移動時間をかなり費やしていました。

今回の新路線は中南和の交通の要衝である八木駅を発着します。八木駅には関西空港からのリムジンバスが乗り入れており、リムジンバスと新路線を乗り継ぐことにより、中南和地域を周遊できるルートが生まれます。これは地元住民・各市町村に対してインバウンドを誘客できるルートになると考えます。

またバス事業者側のインバウンド対応として、案内放送・行先表示・バス停留所などの多言語化を実施します。



**【実際の運行計画】**

**■使用車両**

小型路線バス車両

**■運行ダイヤ**

土日祝日運行

一日3往復を予定(別紙のとおりです)。

なお、12月～2月末までは運休とする。